



関東ブロック交流会（11月14日 大宮市）写真：中嶋育雄

不屈

東京都本部
「不屈」No.570付録
東京版No.471
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-7-8
劳音お茶の水ビル1F
電話 03(6240)0283
FAX 03(6240)0284
振替 00100-5-99628
E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp

憲法9条を守り、暗黒政治と 戦争する国復活を許さない 来夏の参院選までの大切な半年

この国は、動ける部分が三つあります。一つ目は、投票率が戦後三番目の低さだったことです。今回映画の場で、伊藤千代子の「9条改憲を許さない」という映像が放映されました。これは、主に2年以上の間に、多くの議席を占め、改憲への動きが急速に強まっていました。しかし、多くの人々が、「政治は変わらない」とあきらめています。

二つ目は、自公の得票数が、これまで投票所に行つていた人の中で動いています。これは、半数近くの国民が、「どうせ政治は変わらない」とあきらめています。しかし、多くの人々が、「政治は見える」と感じています。

三つ目は、自公の得票数が、これまで投票所に行つていた人の中で動いています。これは、半数近くの国民が、「どうせ政治は変わらない」とあきらめています。しかし、多くの人々が、「政治は見える」と感じています。

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認める

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

参議院選挙勝利に向けて全力を尽くします
日本共産党参議院議員 山添 捩



先の総選挙では、日本共産党にも大きなご期待をお寄せいただきました。残念ながら議席を後退させる結果となり、自公政権を倒すことができず大変悔しく思います。

同時に、野党共闘があつたからこそ多くの小選挙区で接戦となり、自民党の大物議員が落選する結果ももたらしました。メディアなどで、「野党大勝利」と騒ぎました。

党共闘は失敗」という論調がふりまかれていますが、事実に反します。政権交代を掲げた野党共闘が自公政治にのど元まで迫ったからこそ、相手にとっては脅威となり、共闘への攻撃が激しさを増し、「野党はバラバラ」「共産主義が入った政権でよいのか」といった一大キャンペーンが張られることになりました。それに打ち勝つ力を持つことが求められていると痛感します。

党共闘しかありません。来年は参院選です。新しい政治の姿をさらに磨き、共闘の意も魅力もさらに広げたいと決意しています。

経済効率を優先し、弱肉強食で自己責任を押しつける政治と経済のあり方を改め、何とくらしを文字通り真ん中に置く政治が求められています。コロナ危機の先に希望ある社会を築くために、力を合わせようではありませんか。

国賛同盟青年部の活動は、

岸田政権の政治が、このままでよいはずがありません。「新しい資本主義」といながら、アベノミクスによる格差と貧困の拡大への反省はなく、コロナ禍で救える命を救

えなかったことへの謝罪も言わ
りません。「化石賞」といってタクシーの運転手さんから聞き、見聞が広がりました。

交流会から中央本部へ
世田谷支部 中
山梨の私の実家のすぐ
県本部の小林さんが住ん
小林さんとは前回の伊勢
の交流会に続いて今回も
で楽しく交流ができた。

討論では、「わが青春つくると
も」伊藤千代子さんの生涯を描いた映画の上映運動と共に国賠同盟を大きくする運動が各地で拡がっていることを確信しました。今、自公に維新が加わり憲法を変え「戦争のできる国づくり」を進めようとする動きが急速に拡がりつつあります。豊島でもこの映画を多くの人に見てもらい、感想を出しあう場を設けたいと思いました。

ストップ「戦場のドキュメンタリー」

東京は25全選挙区中、共産党が5選挙区と立憲民主党が16選挙区の計21選挙区が統一候補。うち共産党は比例重複3人が統一候補になりました。

署名紹介議員、統一候補の小選挙区・比例候補29人に「檄」を届け、小選挙区7人、比例7人の14人が当選。前回の小選挙区2、比例3の計5人から9人増えました。

8区では石原伸晃自民元幹事長に勝利しました。この市民と野党共闘の成果を確信に全支部で共闘に参加し、参院選の勝利をめざしました。

「特別期間」の取り組みは、8月会費100%、年末募金11月の到達は、会費61%、60%以上上の支部7支部と前進していますが目標達成には、166万円を残しています。

- ・衆院選の教訓を学び、参院選勝利へ貢献する都本部へ。
- ・来年の全国大会、都本部45周年に向け、1300人目標達成へ。
- ・千代子上映運動、顕彰活動、學習活動と結び、支部目標と行動計画を決める。
- ・12月全支部と全役員が新しい会員を増やし、新年を迎える。
- ・讀願署名の取り組み
- ・総選挙があり遅れていた団体要請の年内終了をめざす。会員との100%の年内目標の達成をめざします。残りは58万円。
会費100%、年末募金70%をやりきるために、同盟員を訪問するなどの取り組みをすすめましょう。

6 筆 6 % の到達と遅れています

第一次集約は12月28日です。各支部は回収した署名を都本部へ。

千代子上映運動について

各支部で上映運動実行委員会をつくる。国民救援会、民青、新婦人、年金者組合などによびかける。
1月18日（火）撮影終了記者会見、全国交流会（オンライン）。

12月理事会 12月21日（火）
13時半～16時

文京区湯島区民センター
関東brook下見

11月10日 三役会議

11月6日 小林多喜二実行委員会
11月13日 日本母親大会リモート
11月14日 関東brook交流会
11月19日 改憲許すな国会行動
11月24日 理事会

婦人団体連合会総会

反共主義は戦前に大地主・資本家と天皇権力が絶対的専制政治の下、国民を搾取し、自らの資産を死守するために、治安維持法で抵抗する者を弾圧して、共産党は私的財産を奪い、自由を侵すものと誤った認識を国民党に深く根付かせた。今日に至るまで、日本は容易に解けない反共風土と化している。だから先の総選挙戦でも相変わらずの反共攻撃で与党が政権を維持した▼今日、自民党政権はアメリカの目下の同盟国として、再び戦争する國へ治安維持法復活につながる改憲をめざしているではないか▼7年前、安保法制・戦争阻止大闘争の中で生まれた市民と野党の共闘で、しかも共産党は閣外協力ながら政権をめざすという今回の選挙戦に、マスコミは与党に危ないぞとけしかけ、反共攻撃を野放しにして、与党の危機を助けた。▼民主勢力が共闘の大目標をガンとして掲げなければ、反共風土は容易に解けるものではない。中国やロシアの影響もある。国賠同盟あげて学習宣伝活動を強化して追及し、映画「伊藤千代子の生涯」を成功させ、地域の人々と多く語らねばなるまい。(邦)

世田谷支部では12月3日に区内在住のワタナベ・コウさんを招き漫画「伊藤千代子の青春」の出版を祝つて学習会を行つたが、その出来立てのカラー・チラシと「竹橋事件の会ニュース」を会場で配布した。すると、同じテーブルの都本部・森山さんから「戦争中に非戦闘員がいかなる目にあつたか」の貴重な記録画像集をいただいた私の同盟加入のきっかけは3年前に世田谷支部主催の「山宣」学習会に参加したことだ。その場で小川未明の短編「野バラ」から始まつて10篇の朗読を2時間で聞かせてもらつた。兵士であつても人間として理解しあつた者「野バラ」、知覧の特攻隊員を見送りに来た母と子の思い、環境活動の重大性を訴えるグレタ・トゥーンベリさんのスピーチ、ただのK・POPファンが歴史に目覚めていつた話等々、単純に戦争体験を伝えるばかりで

理事に。そこで、こちらもすかさず私が事務局の「竹橋事件の会」の宣伝を高崎の交流会でさせてもらつた。すると、世田谷支部でも都本部でも「竹橋事件とは何か」を話す機会をもらつた。

その流れで先月『治安維持法と現代』2021秋号に「治安維持法の起源は竹橋事件である」との研究・レポートを掲載してもらつた。コロナでなかなか竹橋の宣伝・集まりができるないこの時期に、この上ない力を貸してもらい、心から涙をぬぐえな

り組みということで年次テーマが語りかけ、心語られた。

80代の上甲マチ子さんから若い俳優さん方まで、熱の入った朗読語ついていた。

のメッセージ」を観て 副会長 風間秀子 もしくもあ

るだけではい あり、本当に多くの方々に平和の人間に平和のたてもらわなく 現代に生きる うに聞いてほしいと思つた。伝えていかなくては力にはならない、力を蓄えなくては、まさかに同盟の課題だと思つた。

俳優有志の取

また、中央本部から声がかかり、9月から全労連会館の事務局で電話を受けたり、「不屈」や黄色の署名用紙を見よう見まねで全国に発送したりして、手伝っている。生々しい弾圧の一端に触れる

板橋支部 森山 康平

交流会では、埼玉県本部の方から「抵抗の群像・埼玉人民戦線事件80年」小冊子を勧められて買いましたことが貴重な体験となつた。山口勇さんの講演録が収録されていたが、そのなかで官憲に捕まつた当時の弾圧の一端が、聞いた話として次のように紹介されていた。

「女のは必ず裸にされ、全裸で縛られて辱めを受ける拷問ですからみんな吐く」と。

こういう具体的な語り伝えは貴重で、大体は「凌辱された」と表現されるところ、こういう赤裸々な語り伝えを目にすると、国賠同盟が彼らの名誉回復と彼らに対する国家賠償を一日も早く実現させねばと思い知る。そんなことを強く感じた交流会だった。

生きる彈圧の一端に触れる

板橋支部 森山 康平

押し付けは安保改憲セツトです

調布市

稻邑明也

病床を三つ増やして十減らす

新宿区 阿部俊雄

植竹團扇選

歌の合戦 いまだ源平

歌の合戦 いまだ源平



【読者からの投稿歓迎】